

お知らせ

報道発表資料

令和8年10月15日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

「つなぐ」使命を果たすために！ ～南海トラフ地震に備え、 防災通信機器の**操作訓練**を実施します～

南海トラフ地震が発生した際には大規模な通信障害が想定されており、災害対応を行うためには、通信回線を“**つなぐ**”ことが重要です。

中国地方整備局では、能登半島地震の際に通信回線の確保に有効だった機器の新規配備を行っており、令和8年度熊本地震でも活用しました。

この度、さらなる操作習熟を目的として「**防災通信訓練**」を実施します。

- 訓練日時 令和8年10月29日（木）10：00～16：00
- 訓練内容 別紙－1「訓練概要」を参照
- 訓練場所 旭川防災ステーション（位置図は別紙－2を参照）
- その他 報道機関の方は災害対策車両や通信機器の体験も可能です。
防災体制に入ることが想定される場合等は訓練を中止する場合があります。

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局

TEL 082-221-9231（代表）

メール t-kunren@cgr.mlit.go.jp

【担当者】

防災情報調整官 ひらい まさゆき 平井 雅之 （内線2124）

防災室課長補佐 たかつか みつる 高塚 充 （内線2154）

訓練概要

1. 訓練参加機関

国土交通省：中国地方整備局、岡山河川事務所、岡山国道事務所、福山河川
国道事務所、苫田ダム管理所、八田原ダム管理所
関係機関（映像伝送受信訓練）：岡山県、岡山市

2. 訓練使用機材等（機材写真、過去の訓練状況は別紙－ 3 のとおり）

5GHz 帯無線アクセスシステム（i-RAS）、移動型衛星通信設備（Car-SAT）、衛星通信
車、可搬型衛星通信設備（Ku-SATⅡ）、衛星インターネット設備（Starlink）、
モバイル映像伝送装置（Zao-X、Zao-ウェアラブル）、

3. 訓練内容

- 1) 「旭川防災ステーション」付近を現地対策本部と見立てて、省内専用
回線と接続するための通信回線構築訓練を実施する。
- 2) 通信が途絶した自治体を想定し、衛星インターネット設備（Starlink）を使用し
た Web 会議（Microsoft Teams）を実施する。
- 3) モバイル映像伝送装置（Zao-X、Zao-ウェアラブル）を用いて撮影した被災箇所（想
定）の映像を、災害対策本部（中国地方整備局）へ伝送し、省内専用回線
を用いて国土交通本省へ映像配信を行う。
- 4) 被災現場（想定）周辺映像を可搬型衛星通信設備（Ku-SATⅡ）により伝送
する。映像は省内専用回線を介して災害対策本部及び現地対策本部で受
信する。また、映像を岡山県庁及び岡山市役所へ伝送する。
- 5) 現地対策本部より、1) で構築した通信回線を使用し、災害対策本部及び
国土交通本省と Web 会議を実施する。

4. 訓練スケジュール

10:00～10:10 訓練概要説明
10:10～16:00 機器設営、映像伝送訓練、Web 会議、講評
16:00～16:30 片付け

5. 取材について

- 1) 取材のご希望がありましたら、令和 8 年 10 月 28 日（水）12 時までに
別紙－ 4 「取材申込用紙」を問い合わせ先メールアドレス宛て送付くだ
さい。
- 2) 取材場所については、旭川防災ステーションのみとし、その他の関係機
関等への取材はご遠慮願います。

訓練会場案内図(旭川防災ステーション)



< 参考：過去の訓練状況 >

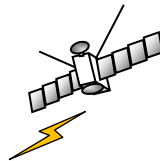


衛星インターネット設備説明状況



防災通信機器（i-RAS）組立状況

< 訓練で使用する機材の一例 >



C a r - S A T



衛星通信車

※当日、災害対策車両や防災通信機器の体験も可能です。

防災通信訓練 取材申込用紙

別紙－ 4

<宛先> 中国地方整備局

防災室 課長補佐 高塚 (t-kunren@cgr.mlit.go.jp)

<連絡先等記入欄>

社名・報道機関名 : ()

ご担当者様 氏名 : ()

当日のご連絡先 : ()

取材人数 : () 名 、 取材車両 : () 台

<備考>

※複数名でご参加の方は、代表者の方の氏名、連絡先をご記入下さい。

※当日のご連絡先については、急な中止連絡等に使用致しますので、携帯電話等をご記入頂けますと幸いです。

※ご連絡期限は**令和8年10月28日(水) 12時まで**とさせていただきます。

※上記<連絡先等記入欄>の項目を満足する場合、メール本文への記載でも構いません。